



平成 24 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 セブンシーズ・テックワークス株式会社
代表者名 代表取締役社長 川嶋 誠
(コード番号 2338 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経
T E L 03-5360-8998 (代表)

業績予想の修正、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに

役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 10 月 14 日に公表しました平成 24 年 2 月期（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）の連結業績予想、および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 3 月 1 日 ～ 平成 24 年 2 月 29 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,500	10	35	0
今 回 修 正 予 想 (B)	3,900	△120	△90	△340
増 減 額 (B－A)	△600	△130	△125	△340
増 減 率 (%)	△13.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	3,710	△247	△231	△176

2. 平成 24 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 23 年 3 月 1 日 ～ 平成 24 年 2 月 29 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	800	20	40	50
今 回 修 正 予 想 (B)	400	△60	△40	△70
増 減 額 (B－A)	△400	△80	△80	△120
増 減 率 (%)	△50.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	460	△73	△78	△80

3. 修正の理由

通期業績【連結・個別】

売上高につきましては、システムソリューション事業において、学習管理システムのバージョンアップのための開発遅延に加え、スマートフォン向けアプリケーションの受託案件が一部次期へずれ込み、また一部が失注した影響により、メディアソリューション事業においては、広告業界が回復傾向にありますが、本格的な回復には今暫く時間が必要であると思われ、当初の見込みを達成することが

困難となったために、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少によることに加え、下記のとおり、特別損失を計上する影響により、予想を下回る見込みとなりました。

4. 特別損失（減損損失、棚卸資産評価損、本店移転費用）について

- (1) 広告業界が回復傾向にあった中、東日本大震災の影響などにより、現在の市場環境や財務状況等を鑑み、連結子会社である株式会社ピーアール・ライフの業績見通しについて、保守的に再評価を行った結果、減損処理を行う予定であります。

連結子会社の株式取得時に発生したのれんについて減損処理を行い、平成 24 年 2 月期通期連結業績において減損損失 181 百万円を計上する見込みとなりました。

また、この減損処理により、平成 25 年 2 月期以降の連結業績において、当該処理実施前と比して、年間 80 百万円のものれん償却額の軽減となります。

なお、この特別損失については、上記の連結業績予想の修正に織り込んでおります。

- (2) 当社で現在取り扱っております IC タグ読取装置は、大量のタグを高速に読み取る商品であり、国内外に向けてアプローチしてまいりましたが、事業の選択と集中により、販売活動を休止せざるを得ないと判断いたしました。

そのため、当該商品の棚卸資産の評価損 25 百万円を連結決算および個別決算において、特別損失に計上する予定であります。

なお、この特別損失については、上記の連結・個別業績予想の修正に織り込んでおります。

- (3) 当社は、平成 24 年 2 月 6 日付けにて「本店移転に関するお知らせ」を公表しておりますとおり、平成 24 年 2 月 27 日に本店を移転いたしました。これに伴い、本店移転費用として 2 百万円を、固定資産除却損として 1 百万円を連結決算および個別決算において、特別損失に計上する予定であります。

なお、この特別損失については、上記の連結・個別業績予想の修正に織り込んでおります。

5. 繰延税金資産の一部取崩しについて

上記のとおり、外部環境の変化等により、連結子会社である株式会社ピーアール・ライフの業績見通しの再評価を行ったことに伴い、当該連結子会社の繰延税金資産の回収可能性についても、保守的に再検討を行った結果、連結決算において、繰延税金資産の一部 21 百万円を取崩すこととし、法人税等調整額に計上する予定です。

なお、この繰延税金資産の取崩しについては、上記の連結業績予想の修正に織り込んでおります。

6. 役員報酬の減額について

当社は、平成 23 年 3 月 22 日付けにて「役員報酬の減額継続に関するお知らせ」を公表しておりますが、上記、業績予想の修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするために、平成 24 年 3 月以降につきましては、減額幅を更に拡大することを決定いたしました。

記

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役：月額報酬の 20% を減額のところ、更に 10% の減額

取締役：月額報酬の 10% を減額のところ、更に 10% の減額

(2) 対象期間

平成 24 年 3 月から当面の間

以 上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。